



2019年5月10日

各 位

会 社 名 ダイトウボウ株式会社
 代表者名 取締役社長 山内 一裕
 (コード：3202 東証・名証各第1部)
 問合せ先 取締役執行役員 三枝 章吾
 経営管理本部長
 (TEL 03-6262-6557)

中期経営方針の修正に関するお知らせ

当社は、本日の取締役会において、「中期経営方針 Get Ahead of the Future～新しい時代の先へ～」(対象期間：2018年4月～2023年3月、以下“本中期経営方針”という。)に関連し、損益見込みを修正することを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本件は、2019年3月29日付で公表済みの「ヘルスケア事業の一部譲受の完了について」に基づき譲り受けた事業の事業損益および最近の業績動向と市況も踏まえて一部修正するものです。

記

1. 中長期的な損益見込と財務目標

(1) 連結業績見込

(単位：百万円)

		中期経営方針			
		2019年度 見込	2020年度 見込	2021年度 見込	2022年度 見込
売 上 高	前 回 発 表	5,100	5,300	5,400	5,500
	今 回 修 正	5,400	5,900	6,000	6,200
	増減率(%)	5.9	11.3	11.1	12.7
営 業 利 益	前 回 発 表	450	470	480	500
	今 回 修 正	460	490	500	530
	増減率(%)	2.2	4.3	4.2	6.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	前 回 発 表	200	220	250	280
	今 回 修 正	230	260	270	300
	増減率(%)	15.0	18.2	8.0	7.1
純 資 産	前 回 発 表	4,850	5,100	5,300	5,500
	今 回 修 正	4,590	4,850	5,100	5,400
	増減率(%)	※ ▲5.4	▲4.9	▲3.8	▲1.8
有 利 子 負 債	前 回 発 表	12,200	11,600	10,950	10,300
	今 回 修 正	12,500	11,600	10,950	10,300
	増減率(%)	2.4	0.0	0.0	0.0

※金利固定化に伴うヘッジ会計の採用によるマイナスの繰延ヘッジ損益を見込むこととしました。

(2) 財務目標

		中期経営方針			
		2019年度 見込	2020年度 見込	2021年度 見込	2022年度 見込
営業利益率	前回発表	9%	9%	9%	9%
	今回修正	9%	8%	8%	9%
	増減	0%	※1 ▲1%	※1 ▲1%	0%
R O E	前回発表	4%	5%	5%	5%
	今回修正	5%	6%	5%	6%
	増減	1%	1%	0%	1%
※2 N e t D E R	前回発表	225%	200%	175%	155%
	今回修正	250%	220%	195%	170%
	増減	25%	20%	20%	15%

※1 2020年度および2021年度の売上増に伴い一時的に営業利益率は当初見込みを1%下回りますが、最終年度の営業利益率は当初見込みと変更ございません。

※2 NetDERは、金利固定化に伴い、現行の金利水準を前提としてヘッジ会計の採用によるマイナスの繰延ヘッジ損益を見込むこととしました。

(ご参考) ROE = 株主資本利益率、NetDER = 純有利子負債資本倍率

(注) 上記計数は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の為替水準の動向やその他の諸要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 事業セグメント毎の損益見込 (全社費用は除く、単位：百万円)

(1) 商業施設事業

		中期経営方針			
		2019年度 見込	2020年度 見込	2021年度 見込	2022年度 見込
売上高	(変更なし)	2,480	2,610	2,610	2,610
セグメント営業利益	(変更なし)	940	980	980	1,010

修正事項はございません。

(2) ヘルスケア事業

(単位：百万円)

		中期経営方針			
		2019年度 見込	2020年度 見込	2021年度 見込	2022年度 見込
売上高	前回発表	1,020	1,080	1,160	1,210
	今回修正	1,540	1,880	1,960	2,090
	増減率(%)	51.0	74.1	69.0	72.7
セグメント営業利益	前回発表	15	20	25	30
	今回修正	50	80	90	100
	増減率(%)	233.3	300.0	260.0	233.3

(3) 繊維・アパレル事業

(単位：百万円)

		中期経営方針			
		2019年度 見込	2020年度 見込	2021年度 見込	2022年度 見込
売上高	前回発表	1,600	1,610	1,630	1,680
	今回修正	1,380	1,410	1,430	1,500
	増減率(%)	▲13.8	▲12.4	▲12.3	▲10.7
セグメント営業利益	前回発表	55	60	60	60
	今回修正	40	50	50	50
	増減率(%)	▲27.3	▲16.7	▲16.7	▲16.7

(注) 上記計数は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の為替水準の動向やその他の諸要因によって予想数値と異なる可能性があります。

3. 修正の理由

- (1) 売上高は、中期経営方針の事業戦略に則って実施したヘルスケア事業の譲受効果を加味する一方、最近のアパレル市況の厳しさを勘案して見直しをいたしました結果、中期経営方針の最終年度の売上高は当初計画比 12.7%増の 6,200 百万円となる見込みであります。これに、システム投資等で計画していた経費が削減できる見込みであることなどの経費削減効果もあり、中期経営方針最終年度の営業利益は当初計画比 6%増の 530 百万円となる見込みであります。さらに、営業外収支と税金等の負担を考慮した結果、中期経営方針最終年度の親会社に帰属する当期純利益は当初計画比 7.1%増の 300 百万円となる見込みであります。
- (2) なお、中期経営方針期間中に復配の目途を付けるとの方針につきましては、当期利益水準が当初計画を上回るペースで推移していることから、着実に進捗していると考えております。

以上